

みみょう幼稚園だより



令和2年6月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

引き続きしっかり予防を

全国で緊急事態宣言が解除されました。この時期、従来ですと一学期の折り返し地点で、年少さんの給食やお弁当の時間も軌道に乗り始める頃です。こんなにも登園を自粛していただく期間が続くことは、95年目を迎えた本園においても、これまでにない稀な日々であったと言えます。6月以降の行事や園外保育については、延期や中止をし、油断することなく感染対策をしっかりと講じて参ります。各ご家庭におかれましても、登園前の検温や、健康観察を十分にいただき、ご家族も含め、少しでも体調に不安がある場合は、お休みいただきますよう重ねてお願いします。県や市、学校などの対策もふまえながら、迅速で適切な対応を考えていきますので、急な予定変更等につきましても、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



まねっこは大事

ついこの間までハイハイしていた保育園の乳児さんが、お兄ちゃんやお姉ちゃんのおそびに加わろうと、ぐいぐいと割り込んできました。そばで見ていた先生が「何をしているのかな〜？」と両手を双眼鏡のようにして観察する姿を見て、乳児さんも可愛いお手手を目元に当てて、先生の真似っこをしました。そして、先生やお兄ちゃんたちと顔を見合わせて嬉しそうに声を上げて笑っています。見て、考えて、動いて、感じて、つながった瞬間です。子どもたちは、毎日、目にしたり、手足や身体で触れたりしながら、ものすごいスピードでたくさんの刺激を吸収しています。少し大きくなると、ごっこあそびが始まります。入園したばかりの年少さんもお人形をだっこして優しいお母さんになりきっています。お家でお母さんやお父さんにしてもらっている様々な言葉がけやお世話をお人形にしてあげているのです。おいしいご馳走を運んでくれる可愛いコックさんもいます。「いただきます。わあ、おいしい。」と応えると、次から次へ、山のように運んでくれました。お盆の上のご馳走をひっくり返さないように、一生懸命バランスをとっています。喜んでもらえる嬉しさを味わっているのですね。全身を使いながら、つながりや人の輪を実感していく大事な過程です。

このような行動の積み重ねは、やさしさやつながり、豊かな心情、感性はもちろんのこと、手指の巧緻性、考える力の育成にもつながります。意欲や集中力も高めていきます。模倣は、発展や応用の出発点です。小さいこの時期に身体中をつかったあそびをたっぷり経験させることは、小学校以降につけていかななくてはならない学力の重要な基礎となるため、こうした時間をとても大切に考えています。これから将来にわたって求められている、自らの意思で考え、行動する力の原点がここにあると言っても過言ではありません。



子どもたちが、身近な大人から吸収する刺激の量は膨大です。ものの捉え方や考え方、行動パターンなど、びっくりするくらい吸収していきます。私たちは、子どもたちの素敵なモデルになれるように、何歳になっても日々、成長や修正を重ねて行きたいものですね。

園長 三上 玲子